

原油高相場の歩き方

2022/03/11

ウクライナ紛争で原油価格は急騰



ロシアは原油・天然ガスの巨大輸出国

【2020年】原油輸出货量

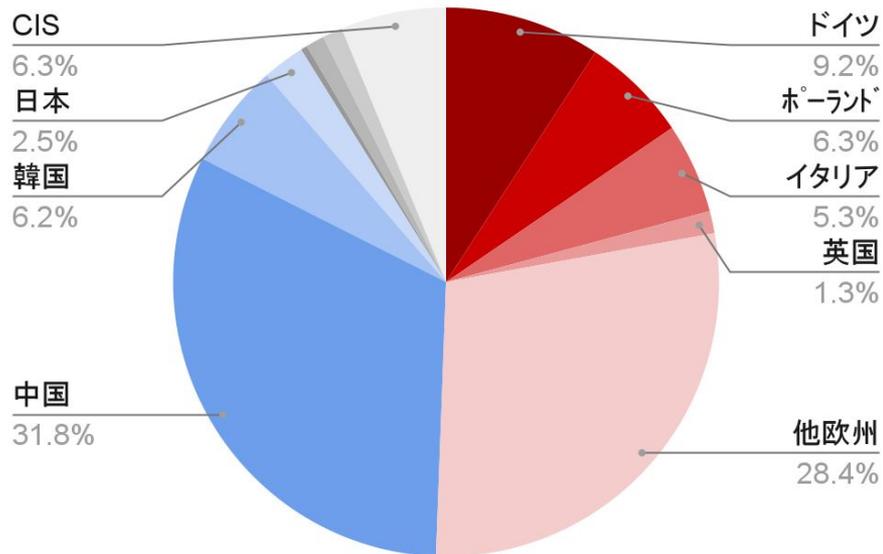
順位	国名	単位：百万US\$	注
1	 サウジアラビア	94,120	
2	 ロシア	83,200	
3	 アラブ首長国連邦	57,251	
4	 米国	50,286	
5	 カナダ	47,731	
6	 イラク	30,685	
7	 ナイジェリア	26,878	
8	 カザフスタン	25,110	
9	 クウェート	24,954	
10	 ノルウェー	22,736	

【2020年】天然ガス輸出货量

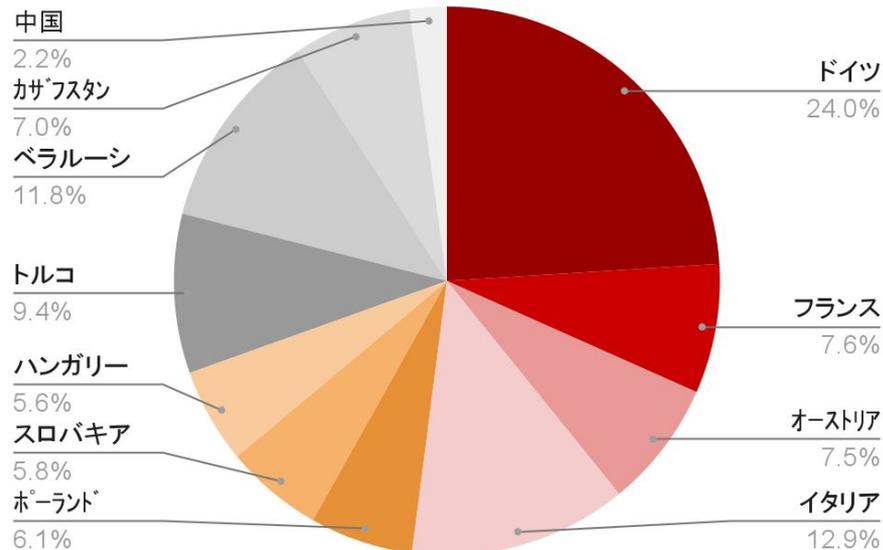
順位	国名	単位：百万US\$	注
1	 ロシア	33,006	6
2	 カタール	20,480	
3	 米国	18,672	
4	 ノルウェー	12,132	
5	 ドイツ	9,192	
6	 マレーシア	6,869	
7	 アルジェリア	5,935	
8	 インドネシア	5,452	
9	 トルクメニスタン	5,282	
10	 カナダ	5,163	

輸出先は欧州（特にドイツ）が中心

原油輸出先(2020年)

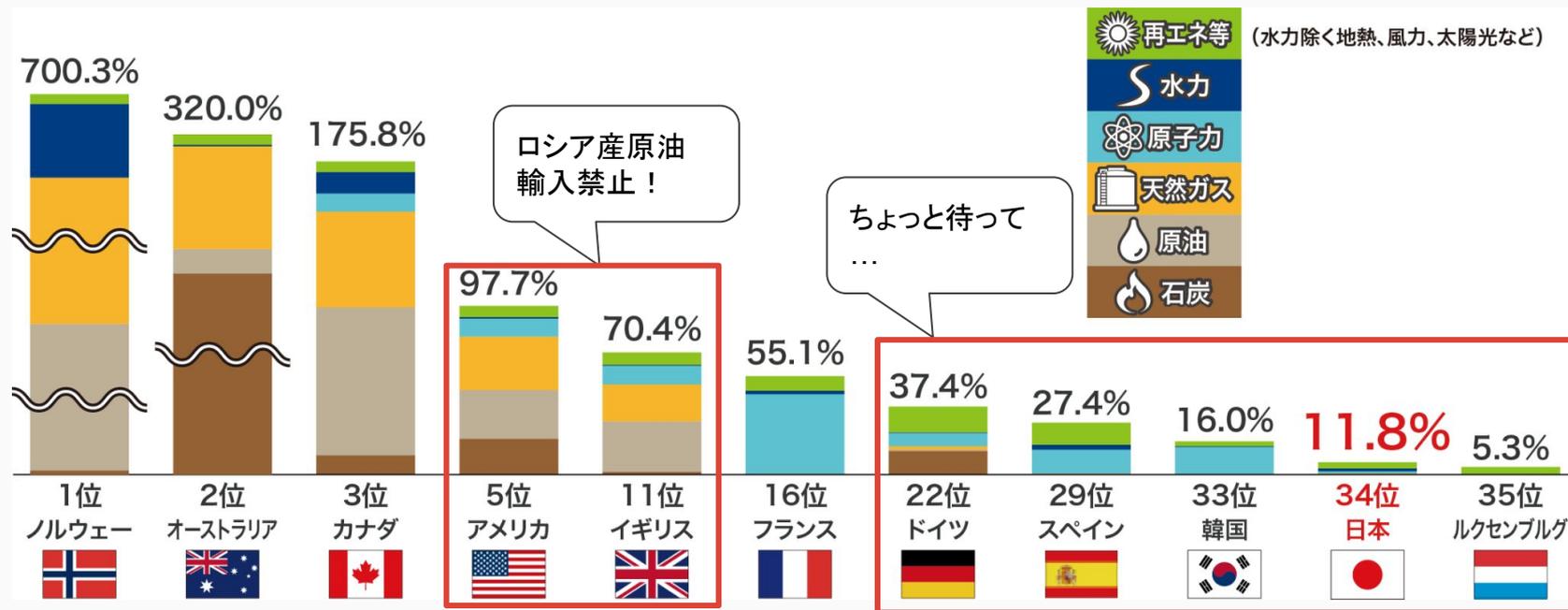


パイプライン輸出先



各国の思惑

主要国の一次エネルギー自給率比較(2018年)



オイル・ショックのケース

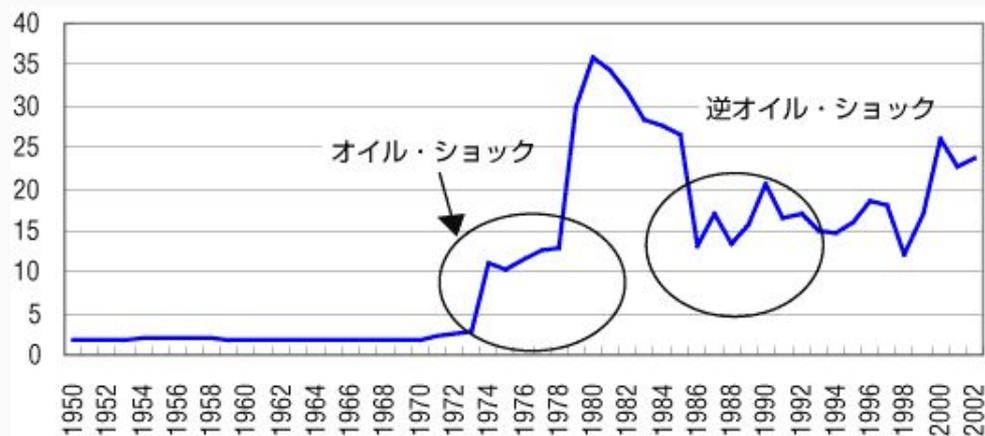
原油価格高騰



脱原油
非OPEC諸国増産



原油価格下落



原油価格に対する時系列順の論点

戦争長期化

戦況やプーチンの意向

米シェール開発

加速するか？

対露制裁

独なども参加か骨抜きか

金融政策

利上げの是非

脱原油

デジタル・シフト

政治的駆け引き

景気減速懸念
(スタグフレーション)

産業構造改革

つばめ投資顧問的シナリオ

- 原油価格の予測はできないが、どこかで**ピークアウト**する
- ベースが下がるまで**1～2年**かかりその間**景気減速**の可能性が高い（FRBは利上げ巡り難しい舵取り）
- 物価上昇・景気悪化で生き残れ、**産業構造改革で伸びる企業**を買う

投資期間で全く異なる考え方

短期(～半年)

- 資源価格高止まりにベット
- 原油そのものはボラティリティが高くおすすめしない
- まだ上がってない、長期的に成長している銘柄
- 資源価格がピークアウトしたら**撤退も視野**

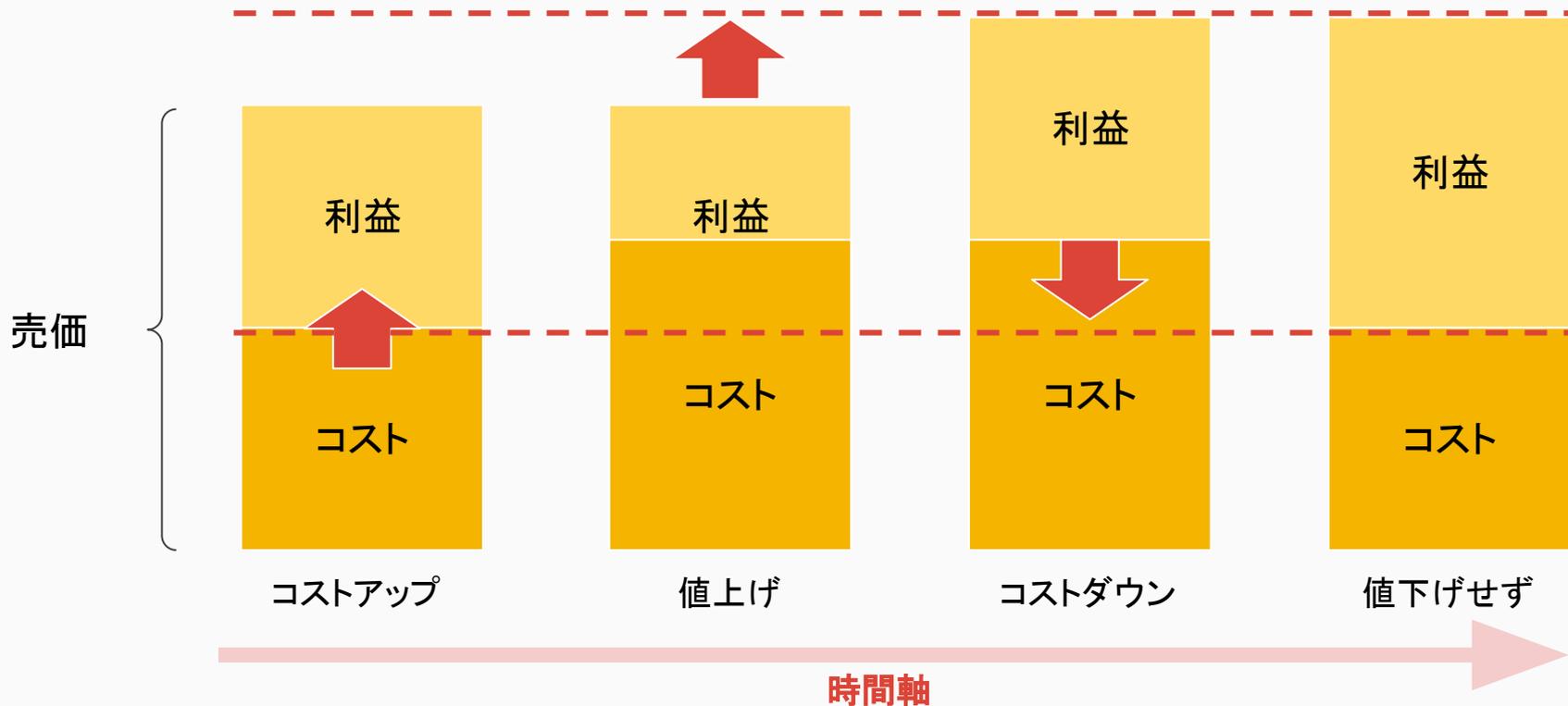
中期(2～3年)

- 資源価格反落を想定し逆張りがベター
- 商品価格を上げられる力(技術/独占)を持つ企業
- 資源価格下落時に大幅な利益が出る
- 当面の株価は厳しくとも、今は**仕込み時・耐え時**

長期(5年～)

- 資源価格関係なく、長期潮流の中で必要とされる企業
- 産業構造改革に着目
- 「脱原油」「デジタル」「日常生活」がキーワード
- 逆張りというより、**市場のリスクオフ**を拾う

値上げの時間差効果



投資期間別銘柄例

※以下はあくまで一例であり、推奨銘柄というわけではありません。調査のきっかけとしてください。

短期(~半年)



中期(2~3年)



長期(5年~)



下がった理由は何か？

市場概説 > カルビー

2,427 JPY

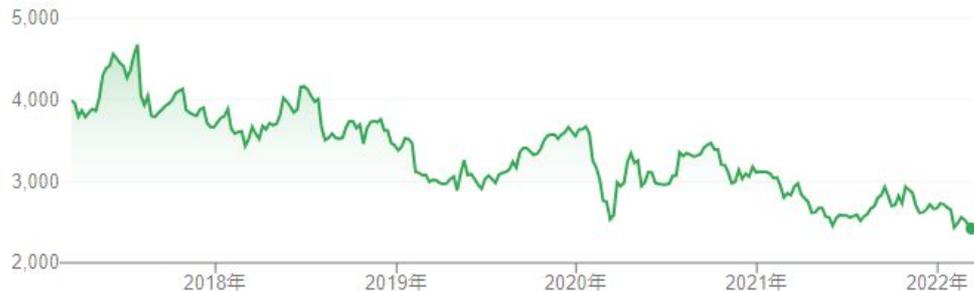
TYO: 2229

+ フォロー

-1,568.00 (-39.25%) ↓ 過去 5年

3月10日 15:15 JST • 免責条項

1日 | 5日 | 1か月 | 6か月 | 年初来 | 1年 | 5年 | 最大



始値	-	時価総額	3250.47億	CDP スコア	B
高値	-	株価収益率	17.66	52 週高値	3,010
安値	-	配当利回り	2.06%	52 週安値	2,351

カルビー、「ポテトチップス」値上げ 7~10%

2021年10月29日 13:48

📌 保存

📄 📧 📁 🐦 📘 📌



主力のポテトチップスなどを7~10%値上げする